

家族構成・ライフスタイルに 合わせ、最適セキュリティ。

今号では、自主警備型セキュリティシステム「ライフディフェンス・エア」がご家庭で実際に設置されている様子取材しました。設置場所や使い方、予想される効果などご参考にされてください。



■設置システム内容:
ライフディフェンス・エア「スタンダードセット」×1
窓ドアセンサー×10
火災センサー×2
非常ボタン×2
可動式非常ボタン×1
リモコン×4
ガレージセンサー×1
みまもり用センサー×1



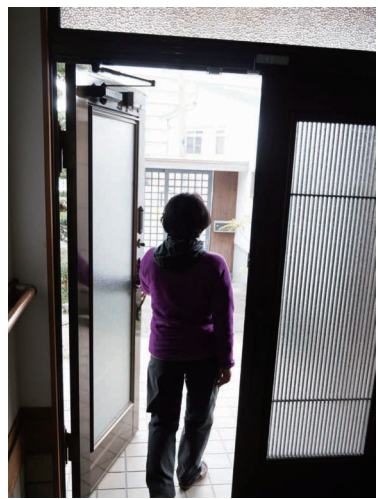
■家族構成:
ご主人(52)、奥様(47)、娘さん(20)、お祖母ちゃん(83)

活用事例1「防犯」

奥様がお祖母ちゃんのどちらかが在宅している日中は、車や人通りも多いため警備モードは使用されていません。夜はご主人や娘さんが帰宅するまで玄関以外は警備状態にしたいという要望で、写真のようにワイヤレスコントローラーを6エリアに分けて部分警備しやすくしています。



昼間は玄関と勝手口にカギをかけていますが、チャイム通知機能をオンにしているため、人の出入りがあった時はチャイム音が鳴り知らせてくれます。安心感が倍増したとのことでした。

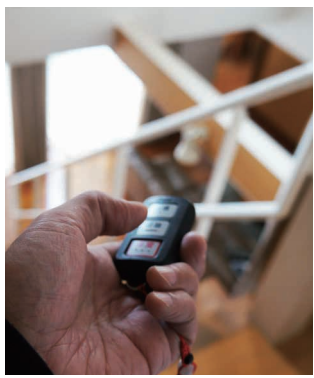


■玄関と勝手口のセンサーが感知するとチャイムがなるように設定。人の出入りが音で確認できるだけで大きな安心感が得られる。

家族全員が帰宅し夕食が済むとお祖母ちゃんを除いた3人は二階に移動してしまいうため、一斉警備(外出警備)を開始します。



警備および解除はリモコンでもワイヤレスコントローラーからでも出来ます。ワイヤレスコントローラーで警備解除する時には暗証番号の入力が必要となります。



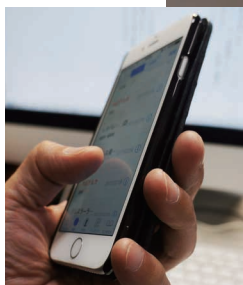
■リモコンは見通して約80mの距離まで届く。このお宅では警備、解除の操作は二階からリモコンで行っている。

活用事例2「見守り」

日頃在宅率の高いお祖母ちゃん。一人で留守番のときも多く、何かあったときが心配なお夫婦が「見守り機能」に注目されました。



お祖母ちゃん用のトイレドアにセンサーを取り付け、ドアの開閉(無事)を確認できるようにしました。



■無活動が確認されるとご主人のスマートフォンに知らせてくれる。

設定は8時間とし、8時間内にトイレを使用していない場合は異常とみなしご主人(ご主人が取れない場合は奥さん)のスマホに通報します。※通報メッセージは「活動を確認できません」
また、正常に活動されている場合も安心コールの意味で毎日正午にワンコール発報する機能もオンにしているため、出張時も無事を実感でき安心されているそうです。

